



新潟市立庄瀬小学校 令和5年度 学校だより  
～人、まち、自然がわたしたち「みんな」の学校～



ひまわり

令和5年6月21日

## 時間を大事に使っていますか？

6月の全校朝会で次のことを話しました。

- ・6月10日は時の記念日。外国には「タイム イズ マネー」という言葉があり、日本語だと「時は金なり」と訳されている。時間はお金と同じように貴重なものだから、無駄にしてはいけない、という意味。
- ・「時間を守る」ということは「相手を大切にする」ということ。逆に「時間を守らない」人は「相手を大切にしない」人。時間を守り、相手を大切にする人はみんなから信用されるし、時間を守らず、相手を大切にしない人はみんなから信用されなくなる。皆さんはどちらの人になりたい？



- ・この人は日野原重明さん。日野原さんは100歳までお医者さんをしていた人。日野原先生が小学生に「いのちの授業」をしていた。先生は小学生に「いのちって何だと思いますか？」と質問し、「いのちとは、私たちが持っている時間です」と小学生に教えられた。
- ・「死んでしまったら自分で使える時間もなくなってしまう。一度しかない自分の時間、命をどのように使うかをしっかり考えながら生きていってほしい」と

いうことを伝えるために「いのちの授業」をされていた。時間を大事にすることは、いのちを大事にすること。

- ・日野原先生はもう一つ、「人のために時間を使っていますか？」と小学生に訊いていた。皆さんは、ほとんどの時間を自分のために使っている。お家の人は、ほとんどの時間を家族のために使っている。
- ・おうちでお手伝いをしている人や学校で係や委員会の仕事を自分から進んでやっている人、友達に勉強を教えてあげている人は人のために時間を使っている人。皆さんも、自分の時間を人のためにちょっとでいいから使ってみよう。

私自身、いのちの授業について知り、日野原先生の著書を読んで、『時間=いのち』という考え方をとても新鮮に感じました。そして、子どもたちに話しながら、自分自身「時間を大事にしているかな？」と日頃の時間の使い方を猛省しました。ご家庭でも、日常の時間の使い方について、話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 水やりに励む子どもたち

先月植えたプランターの花々。翌日から、登校するとジョウロに水を入れ、自分の班のプランターの花に水やりをしています。

同じひまわり班の子と一緒に水やりをしている子も多く、微笑ましい光景がそこかしこに見られます。



## 中ノ口川の空に安兵衛凧舞う！

4年ぶりに子ども大凧合戦が5月31日に開催され、5・6年生が参加しました。4名の凧指導者の皆さんと凧好きのボランティアさんからサポートいただきました。皆さんが一緒に「庄瀬の凧は出来が違う」とおっしゃるとおり、雲一つない青空に悠々と揚がっていました。残念ながら、相手方の凧との呼吸が合わず合戦にはなりませんでしたが、自分たちの凧を満足そうに見つめる子どもたちの目が印象的でした。



## プールがピカピカに

6月12日に5・6年生と16名のボランティアさんでプール清掃を行いました。おかげで今週から水泳授業を始めることができます。これから、しっかりと泳力を伸ばしていきます。



## 充実の佐渡修学旅行

島全体が世界遺産登録に向けて盛り上がっている中、6月15日、16日と6年生が修学旅行に行ってきました。若干の通り雨はありましたが、すべての活動を予定通り終えることができました。佐渡では、気持ちのよい挨拶やきちんとした行動を随所で見せ、庄瀬小学校の顔として頑張ってくれました。これからのレベルアップしたレベルアップしたリーダーぶりが楽しみです。



(文責：校長 平出 靖)